

3. あなたは、このプログラムからどのようなことを得ましたか。(複数回答)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1) 自国と自国の文化について理解を深めることができた | 6) 多くの友人を得ることができた |
| 2) 自国に誇りを感じるようになった | 7) 物事に対する考え方が変わった |
| 3) 日本についての理解を深めることができた | 8) 転職を考えるほどに大きな影響を受けた |
| 4) 事業に参加している国についての理解を深めることができた | 9) 上記いずれでもないが、非常に有益であった |
| 5) 地球規模の問題について興味を抱くようになった | 10) このプログラムから得るものはなかった |

(人)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答
全参加青年	125	137	121	196	125	161	144	63	4	2	1
日本参加青年	60	69	36	100	60	85	77	36	3	1	0
外国参加青年	65	68	85	96	65	76	67	27	1	1	1

4. あなたの事業からの最大の学びは何でしたか。

<日本参加青年>

- 人生の目的と方向性を定めることができた。
- 外国や異文化についてより多く知りより深く理解した。
- 自分にはどんな話題の会話にでも参加する能力があり、背景や文化の違う人々と知識を共有できるのだということを知った。
- 人生の目的と、他人を尊重尊敬すること。
- 自分自身のリーダーシップのスタイルや、自己管理・グループ運営のこと、対処戦略、そしてセミナーから得られた新たな知識など。
- 魂のレベルで私たちは皆同じだとしても似ているのだということ。同じ興味を持ち同じ問題を抱えているということ。
- 誰でもがリーダーになれるし、そのリーダーシップのスタイルはそれぞれ違うということ。仕事はお金を作る道具ではなく人生の目的を達成するための道具だということ。お金はついてくるもの。
- 個人個人を尊重することで、必然とその人に興味が湧き、「聴く力」が身に付いた。
- 参加国に対して持っていたステレオタイプが一掃されて、本当の姿を知ることができた。
- 失敗を恐れずに挑戦することの大切さ。
- リーダーシップや自分の在り方について、ありのままの存在でいいんだと学んだ。
- 自分自身が何をしたいのかを改めて考えることができた。生涯を通して助け合い、支え合える友人ができた。
- 一人ではできないと思う課題でも、皆で協力すれば達成できるということを再認識した。
- 国や文化、習慣などが異なる国の人々と接するときには、常にオープンマインドでいることが重要だと学んだ。
- たとえ住んでいる国や信条が違っていても、平和や友情、世界に対する想いは同じ。
- 10歳以上も年下のPYの中に果てしない才能を持った人がいると知った。

<外国参加青年>

- それぞれの持つ倫理や政治的価値観の違いがあっても、夢や将来の社会についてのビジョンには大きな共通性があるということ。それは、平和、コミュニティ、意義のある社会的アイデンティティを享受できる未来だ。
- 私のしたいこと。それは、世界中の人が笑えるようにすること。
- 異文化や伝統を尊重し、自分自身の国に誇りを持つこと。
- 事業のスケジュールはとても秩序立っており、私は時間管理を学ぶことができた。
- 絶対に文化的背景で集団を評価せず、その人々のふるまいで評価すべきだということ。
- 人々をどのように力付けるか。
- 人間関係が、どんなことよりも格段に重要だということ。
- 誰でもみんな、社会に貢献し、社会に影響を与え、良い変化をもたらす力を持っているということ。日本、インド、スリランカの伝統文化とライフスタイル。
- 異文化間の相互理解について。私たちは違いよりも共通性の方が大きいこと。この事業の環境は理想的な世界だということ。
- 自分の国で起きていることをグローバルな視点から見ようになった。将来一緒に働ける人と出会った。
- この事業のおかげで、世界中の人と知り合うことができた。
- 様々な人々や国々の間での尊重尊敬と相互理解。
- 背景の違う人々と一緒に物事を進めていく能力。より偏見の無いコミュニケーション。リーダーシップに関する新しい考え。
- 人々が共通の理解を持つことは可能だということ。時として、最大の学びは自分自身のアイデンティティに関すること、そして